

会議録

会議の名称		第11回小金井市子ども・子育て会議
事務局		子ども家庭部子育て支援課
開催日時		令和6年12月11日（水）18時30分から19時05分まで
開催場所		801会議室
出席者	委員	会長 金子 嘉宏 委員 会長職務代理 萬羽 郁子 委員 委員 亀山久美子 委員 喜多 明人 委員 後藤 律子 委員 小峰 優子 委員 清水 圭樹 委員 水津 由紀 委員 竹内 敬子 委員 檀原 延和 委員 福井可奈子 委員 安岡 圭子 委員
	事務局	子ども家庭部長 堤 直規 子育て支援課長 鈴木 美苗子 子育て支援係長 古賀 誠 子育て支援係主任 山下 真優 保育課長 中島 良浩 児童青少年課長 平岡 美佐 児童青少年係長 鈴木 拓也 学童保育係長 野村 哲也 児童青少年課主査 永井 桂 母子保健・児童福祉統括担当課長 笠井 綾子 ナレッジ・マネジメント・ケア研究所 熊谷 芳浩
傍聴の可否		可
傍聴者数		3人
会議次第		1 開会 2 次期計画策定について 3 その他 4 閉会
発言内容 発言者名（主な 発言要旨）		別紙のとおり
提出資料		資料47 のびゆくこどもプラン 小金井（素案） 資料48 子ども・子育て支援事業計画における量の見込みと確保の内容の算出方法（当日配付） 資料49 「のびゆくこどもプラン 小金井」令和6年度策定スケジュールについて 参考資料14 意見・提案シート

小金井市子ども・子育て会議 会議録

令和6年12月11日

○金子会長 ただいまから第11回小金井市子ども・子育て会議を開催いたします。

本日は、長岩委員、村田委員、渡邊委員から欠席の連絡をいただいておりますので、御報告させていただきます。

それでは、早速ではありますが、次第の（２）次期計画策定についてを行います。事務局からの説明をお願いいたします。

○子育て支援係長 資料47を御覧ください。前回までの御意見を踏まえ、修正等を行った計画（素案）となります。なお、前回の会期終了後から1週間、委員の皆様から追加の御意見等をいただく期間を設けましたが、どなたからもございませんでしたので、それに伴う修正はございません。

また、本日は参考資料として2点、「のびゆくこどもプラン 小金井」（素案）主な修正点及び対応状況と、「のびゆくこどもプラン 小金井」（資料47正誤表）を配付しておりますので、併せて御確認ください。

続きまして、資料48を御覧ください。第5章、子ども・子育て支援事業計画における量の見込みと確保の内容の算出方法となります。前回の会議において、各事業については、国の算定マニュアルによるものか、過去実績によるものかを一表にまとめてお示ししましたが、本資料はさらに詳しくお示したものとなります。

最後に、今後の予定についてです。前回の会議の場でも説明させていただきましたが、この計画に係る議論につきましては、本日の会議で固めていただきまして、年明けからの約1か月間、パブリックコメントを実施する予定であります。そのため、本日の会議終了後からパブコメ実施に向けた事務手続に入りますが、その間に発生した軽微な修正等につきましては、会長一任とさせていただければと思います。

私からの説明は以上です。

○金子会長 事務局から御説明いただきました。御発言されたい方がありましたらということになります。多分、47を全部見るのは大変だと思いますが、この対応表というものが前回からの修正ということになります。正誤表に関しては、本当に誤字脱字のレベル、こちらはいいかと思うんですが、こちらのほう見ていただいて何か気になる点がございませ

たらということになります。

あと、今ありましたとおり、今日、実は素案を固めないといけないという状況になりますので、もし何か御意見がありましたら、最終的にはこの形にすることまで決めた形で会議を終わりたいという形になりますので、お願いします。

○子育て支援課長 1つだけ、修正した点について御説明させていただきます。

前回御意見をいただいたものと、事務局のほうで気がついて改めて修正させていただいたもの、今、会長のほうから御説明ありましたように、「のびゆくこどもプラン 小金井」（素案）主な修正点及び対応状況というものでお示しさせていただいておりますが、資料47の46ページを御覧ください。こちらに「計画の基本的視点と成果指標」というものを掲載させていただいております。前回までは、3つの円を使って基本的視点の成果指標などをお載せしていたのですが、それが仮のものだったので、今回、施策の体系ではっきりしました基本的視点に合わせて成果指標を確定したものを、今回、改めて挿入させていただいておりますので、前回の資料からはそこが変わっている部分になりますので、御確認いただければと思います。よろしくお願いいたします。

○金子会長 前は円が3つついているような図になっていて、小さく仮と書いてあったんですが、それは今回改めてつくった基本的な視点というところに合わせて、指標を最終的な形として出していただいたという形になります。R5年の現状値のところは横線になっているところは新たに見ますよということになる指標になるかと思います。原則的には増加という形になります。

基本的視点は、ちょうど右側のページを見ると、子どもが心豊かに成長できる。基本的2が、子育て家庭が子育ての喜びを感じられる。基本的視点の3が地域で子育て、子育てを支え、まちが笑顔であふれるという視点に対してのそれぞれの指標をこういう形で決めましたということになっているということであるかと思います。

○萬羽委員 質問で、この正誤表についているコラム3はどちらに入るんですか。オンブズパーソンの設置が。

○子育て支援課長 資料47の58ページ。今、こちらが入っているんですが、少し文言を修正させていただいておりますので、このページごと参考資料としてつけさせていただきます。

○金子会長 分りにくいのですが、対応表のほうはもう反映されている。正誤表のほうは反映されていないということになります。

○萬羽委員 それで、あくまでも参考意見なんですけど、コラムのタイトルがオンブズパーソンを

設置しましたという、オンブズパーソンの設置のタイトルで、何回か前の会議のときに、オンブズパーソンに関して、ユーチューブであるとかいろいろサイトがあるんだけど、まだそれが知られてないよねみたいなこともあったので、ここにQRコードを載せていいのか分からないんですけど、あと、サイトの画像とかを入れたらそちらに誘導できるのかなと思って。周知をするというのが課題に以前上がったというところもあったので、コラムの中でそこを入れてもいいのかなと。すみません、あくまでも参考意見なんです、ちょっと思ったところが1つです。

もう一つが、これは本当にしょうもないことというか、細かいところであれなんですけど、資料48の6ページ一番上の12についての量の見込みの算出方法のところ、これ、ぱっと見たときに目についただけでよく分かってないんですけど、括弧が片方あるけど、どこに閉じるのがついているのかなと、この括弧の関係性がよく分からなかったんですが、これはこの表記で合っているんでしょうか。

例えば、必要受入れ時間数の片括弧、はじめの0歳6か月からの、この括弧の終わりはどこについているのかなというのがよく分からなくて、かつ、その後も月176時間の前にも括弧が始まっているんですけど、終わりがどこについているのかが分からないし、何かそうすると、この括弧はどこからどこまでかというのが分からなくて、私が理解できていないだけかもしれないんですけど、これは合っているのかなという素朴な疑問です。すみません、お願いします。

○金子会長 すごいところ、つくな。

○萬羽委員 すみません。ぱっと開いたら、数式でよく分からないなと思って。

○金子会長 後ろに括弧つけるということですね。

○保育課長 そうですね。括弧が、多分閉じられていないところがあるので、そこは修正をします。

○萬羽委員 すみません、ほかを見ると、それがまた大きな括弧に、7ページとかだと括弧の外側が四角い括弧になっていたりとか、その辺。

○保育課長 多分、その括弧の表記、同じ丸括弧で繰り返すのか、今おっしゃっていただいたような、かぎ括弧でやるのかは多分統一性がないかと思いますので、そこは全体での調整が必要かと思います。おっしゃっていただいた指摘の部分は閉じられてないので、閉じる必要があるのは1つ。あとは、かぎ括弧と丸括弧の使い方の統一感は全体で調整が必要かと思います。

○萬羽委員 すみません、本当にたまたま見たところにあっただけなので、ほかもあるかもしれな

いですが、以上です。

○竹内委員 竹内です。資料47の58ページ、「子どもオンブズパースン」になっているので、そこも誤字かなと思いますけれども、いかがでしょうか。

○子育て支援課長 タイトルですね。ありがとうございます。正誤表のほうでは、すみません、直っております。

○後藤委員 1件誤字で、資料47の47ページ、視点の3の6、誰もが子育てと社会参加できる環境をつくり、「ワークライフバランス」になっているので、ライフで。お願いします。

○子育て支援課長 ありがとうございます。

○金子会長 大丈夫でしょうか。

では、パブリックコメントにということになるかと思いますので、細かい修正がもしありましたら、事務局と私のほうに御一任いただくという形で、パブリックコメントに出させていただければというふうに思います。

以上で次第の(2)を終了いたします。

それでは、事務局からの説明があったとおり、今後の修正が発生した場合は私のほうに一任させていただくということにさせていただきます。

次に、次第の(3)その他を議題といたします。次回の開催日程について、説明のほうをお願いいたします。

○子育て支援係長 次回の開催は、令和7年3月10日月曜日、18時30分からを予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、参考までに資料49として、以前配付しました年間スケジュールに次回会議日程を加えましたので、参考にしてください。

事務局からは以上です。

○金子会長 皆様、長らくお疲れさまでしたというか、一旦、一区切りということになります。ここでパブリックコメントにかかるということです。

先ほども話をしていたのですが、パブリックコメント、すごく重要な一人一人の権利になりますので、ぜひ、周りの方にもパブリックコメントを出すようにということをお伝えいたしたいと思いますし、中学生、特に子どもに関しても、何かこちらの概要版を中学校のほうに。

○子育て支援課長 計画策定に当たっては中高生向けの概要版をつくる予定でございます。今回、パブリックコメント案の概要版にはなりますが、概要版というものを通して、パブリックコ

メントへのきっかけにさせていただくように、その概要版を活用していきたいと思っています。
るところです。今見ていただきましたパブリックコメント素案と、概要にしたものを併
せてパブリックコメントにかけていければと思います。

○金子会長 子どもたちは、多分パブリックコメントを出せるとも思っていないんですが、中学生
でも出せる。小学生でも出せる。

○子ども家庭部長 年齢に制限とかはありません。

○金子会長 ないので、ぜひパブリックコメント、まさに意見表明の1つの本当に重要な権利だと
思いますので、ぜひお子様に向けても、パブリックコメントというものを活用してくだ
さいということをお伝えいただければと思います。

そのほか、何かございますでしょうか。今日は最後のまとめでしたので時間も早く終
わってしまうところではあるのですが。

○水津委員 パブリックコメントの告示というかは何か新しく工夫みたいな、その中高生にとい
うのはあると思うんですけど、呼びかけとか方法とか新しく、要は、知る人しか知らない
みたいな感じになっちゃうので、何か少し、市民がそこにかけるような呼びかけみたい
なのが、市報に大々的に出るとか、ホームページに上がるとか、何かそういう、もし可
能であれば、例えばネットワーク協議会のサイトにアップすることができるのかとか、
ひもづけできるかということになると思うんですけど、できるだけ子育て世代の人たち
に届くようにする工夫みたいなものというのは、何かお考えありますか。

○子育て支援課長 今のところは、これまでもやっておりますが、もちろんホームページでの御案内と、
今、いろいろな広報ツールがありますので、かつてはツイッター、エックスのほうに載
せるとか、できる限りのものは使って、実施しますよということは周知していきたいと
思っています。あわせて、先ほど申し上げました概要版というのもアップして、
御意見いただけるような環境整備に努めていきたいと思っております。

あと、公共施設のほうにも、こういうパブリックコメントを実施していますよという
周知とこの素案のほうを置かせていただく予定なんですが、関連する施設のほうには積
極的に置かせていただこうということで、今の時点では考えております。LINEもそ
うですね。

○喜多委員 2年ぐらい前ですが、私、武蔵野市で、子どもの権利条例をつくっていたときにパブ
コメをしたときに、子どもパブコメで1,000件以上の、1,000件近くか、相当な
子どもたちのパブコメが集まったんですよ。なぜかという、学校の先生たちが協力し

てくれたんです。やっぱり、学校の先生たちから見ればいい市民教育なんでしょう。子どもたちが自分たちのまちづくりの中で、市民として参加していく機会だということで、パブコメを積極的に、恐らく中学校の社会科の先生が中心だと思うんですが、やっていただいた成果として、1,000件近いパブコメが集まって、それは私たちが条例をつくっていくときにすごく役に立ったんですね。すごく励みにもなったんです。そういう意味で、何か学校の先生たちに、そういう市民教育的な、主権者教育とか市民教育のプログラムの中に組み込ましてもらえるとありがたいなと思うんですよね。アイデアです。

○金子会長 ぜひ、教育委員会と連携して、多分特別活動とか総合的な学習の時間では扱いやすい内容だと思うんですよ、今回であれば。なので、何かできることがあれば。あと、委員会活動とかも子どもたちはしていると思うので、その辺りで。

あと、学校でこういうものの告知をすると、実は保護者に一番届く。学校経由だとですね、確実に保護者に届くんです。あと、子どもがやっていると、保護者は私もやらなきゃいけないかっていう気に多分なと思うんですね。だからぜひ、教育委員会なんかと連携を取れたら、子どもの意見表明という意味ではすごく重要なところだと思います。

○子育て支援課長 ありがとうございます。どういったことができるか考えて、相談していきたいと思っています。

○金子会長 今から3学期の授業に入れるというのはすごく大変だと思うので、何らかの形で何かできれば。

○水津委員 告知の方法をちょっと工夫するだけでも違うかなと思うので、ぜひ御検討いただきたいと思うんです。要するに、興味のある人しかたどりつけないということじゃなくて、こういうのをやっているんだというところまで出せるようなものになるといいなと思っています。知らないからね、みんな。

○金子会長 知らないですね。

○水津委員 中学生なんか、グーグルのアンケートみたいなのをみんなで回してやったり、それに近いものを見て、もしくはあれだったらって感じで出すと、かなり喜んでみんなやっているの。

○金子会長 自分たちも関連していることなので、本当に市民教育という意味で、政治参加とか、投票率を上げるということに関してもすごく重要なことじゃないかと思います。何かできるといいかなと思います。

うちの大学でもやれって話ですが。大学生も多分。

- 萬羽委員 若者も入ってくるので、授業でやろうかなと今思っていました。
- 金子会長 そうですね。大学だったら、例えばポータルサイトを見せるというのものもある。
- 萬羽委員 でも、サイトで見ただけだと、誰もしないような気がするので、入り込むというか、ちょっと工夫が必要かなというふうに思いました。
- 金子会長 学校経由で告知をするのはすごくいい気がします。
- 檀原委員 ちょうど今日、校長会があったのですが、グーグルフォームで簡単にアンケートができるため、逆にアンケートの数が増えてきています。では、どの授業の中で行うのかという話になりました。ですから学校で行うのは難しいです。やり方としては、保護者へ配信する文面を子ども家庭部で作成して、各学校に送信し、それを各学校から保護者へそのまま配信すれば、市のホームページに出すよりも、保護者への周知ができると思います。
- また、小学生がやる場合には、例えばこの視点で聞きたいというところをはっきりさせた上で、保護者に、お子さんと一緒に、この点について考えてください、という形で、家庭でやっていただくやり方がいいと思います。授業の中でやるのは、授業時数が限られているので難しいです。
- 金子会長 親と一緒にやっていただくのはすごくいいかもしれないですね。
- 檀原委員 学年によって、例えば、社会科の授業と関連する内容であれば、授業の中でちょっとやらせることはできるかもしれないです。あとは対象とする学年ですね。5・6年だけにするとか、3年生以上にするとかということもあるかもしれません。それは事務局のほうとも相談して、可能なところで校長会のほうにも相談したいと思います。
- 金子会長 ありがとうございます。
- 子ども家庭部長 1点、よろしいですか。
- 金子会長 どうぞ。
- 子ども家庭部長 この「のびゆくこどもプラン」のことじゃなくて恐縮なんですけど、12月15日、今週の日曜日に、去年もやった中学生の意見聴取に係る話合いの場で、小金井を変えちゃう人の会が開催されます。9時から始めるんですが、大人の傍聴が許されるのは11時間の発表の場ですが、この801会議室ですので、よろしければ御参加ください。
- 教育委員会と協議をしまして、来年度、教育の基本計画である「明日の小金井教育プラン」の策定年度に入るんです。その前段として、中学生たちが考える「学校・教育のMIRAI」ということで話し合っていて、今も、ワンフロア下

のところで中学生たちが準備の話し合いをしています、そのような取組を今、子ども家庭部と教育委員会の共同で進めているということもお知らせしたいと思います。

よろしくお願いします。

○金子会長 皆さん15日、私は東京にいないので駄目ですが、もし来られる方がいれば。

○子ども家庭部長 動画になります。

○金子会長 動画になる。

○子ども家庭部長 去年の動画は今ホームページに載っています。

○金子会長 なるほど。では、ぜひ見させていただければと思います。

では皆さん、年の後半はほぼ毎月何かやっていたという記憶がありまして、本当にいろいろと、不手際もあっていろいろ大変だったと思いますが、取りあえず次は3月ということなので、それまで、パブリックコメントの周知を皆さんのほうでも図っていただければなと思います。始まってからは1年、皆さん、お疲れさまでしたというわけではないんですが、一旦、小休止かなと思います。

今日の会議はこれで終わりにさせていただきます。お疲れさまでした。

—— 了 ——